

2016年1月20日
富士火災海上保険株式会社

富士火災Presents
「スーパーキッズ・オーケストラ」～2016ニューイヤー・ミニコンサート～
大阪本社ビルで開催
— 地域社会への貢献と音楽を通じて子どもたちの未来を育むことを目的に実施 —

富士火災海上保険株式会社(代表取締役社長兼CEO:横山 隆美)は、2016年1月15日(金)大阪本社ビル(大阪市中央区南船場)2階ホールにて、日本を代表する指揮者 佐渡 裕(さど ゆたか)氏がプロデュースする子どもたちの弦楽合奏団「スーパーキッズ・オーケストラ」のニューイヤー・ミニコンサートを開催いたしました。

当社の創立90周年を記念し、2008年よりCSR活動の一環として「佐渡 裕とSKOプロジェクト」の協賛をスタート。毎年夏に開催される兵庫県立芸術文化センターでのオーケストラコンサート協賛に加え、翌2009年からは、毎年1月に大阪本社近隣への音楽を通じた地域貢献を目的とした1時間程度のミニコンサートを開催しています。今年は、堺筋アメニティ・ソサエティ(堺筋を快適で美しい都市空間を形成するために活動を行う有志企業の集まり)関係者を始めとする約250名の皆さまにご来場いただきました。

今回のミニコンサートの冒頭では、サプライズで佐渡 裕氏が登場。ホルストの「セントポール組曲より 第1楽章」を指揮しました。その後、加藤 完二氏指揮のもと、チャイコフスキーの「弦楽セレナード」といったクラシックの定番から、メタリカの「メタルマスター」や葉加瀬太郎氏の「情熱大陸のテーマ」といった変り種まで、幅広いジャンルの全9曲(アンコール2曲含む)が演奏されました。会場の中から選ばれた1名のお子さんが舞台上で指揮者を体験するコーナーや、観客の皆さんによる復興支援ソング「花は咲く」の合唱など、単なる演奏会とは違い、演奏者と観客が一体となって楽しめるイベントとなりました。

当社は、今後も地域社会における芸術・文化活動の振興を支援し、心が豊かな社会づくりに貢献してまいります。

富士火災Presents 「スーパーキッズ・オーケストラ」～2016ニューイヤー・ミニコンサート～概要

- 日時: 2016年1月15日(金) 19:00~20:00
- 場所: 富士火災海上保険株式会社 大阪本社ビル2Fホール
(大阪市中央区南船場1-18-11)
- 主催: 富士火災海上保険株式会社
- 協力: 堺筋アメニティ・ソサエティ
- 出演: 指揮 加藤 完二 氏
- 演奏: スーパーキッズ・オーケストラの皆さん
- 演奏曲: セントポール組曲より第1楽章(ホルスト)

アイネクライネナハトムジーク
メタルマスター(メタリカ)
情熱大陸(葉加瀬太郎)
スーパーキッズ・スイングメドレー
弦楽セレナードより第1楽章(チャイコフスキー)
花は咲く(菅野よう子)
～アンコール～
フィドル・ファドル(アンダーソン)
リバーダンス(ウィーラン)

コンサート当日の様子(富士火災大阪本社ビル2階大ホール)



佐渡氏指揮のもと真剣な表情で演奏するスーパーキッズ

観客席に下りて魅せるヴァイオリン演奏

『佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ』とは

世界のマエストロ、日本を代表する指揮者 佐渡裕氏がプロデュースする『スーパーキッズ・オーケストラ』は、“夢をもった大人の、子どもたちへの真剣なプロジェクト”として2002年に誕生しました。メンバーは兵庫県立芸術文化センター芸術監督を務める佐渡氏とプロジェクトメンバーの指揮者・加藤完二氏、そして佐渡氏自らがオーディションで選抜した“小学生から高校生までの子どもたちだけの弦楽合奏団”です。彼らは佐渡氏、加藤氏らの指導のもと、そのずば抜けた音楽の才能を余すことなく発揮して、聴くものの心に響く音楽、音楽で人を楽しませる『よろこび』を創りあげてきました。次世代を担う彼らにとってこの体験は“未来への大きな宝物”となっていきます。佐渡氏とともに数多くの方に“音楽の喜び”を伝え続けるスーパーキッズ。2016年も『佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ』の更なる飛躍が期待されています。